

拠出金名:原子力安全関連拠出金

国際機関等名	欧州復興開発銀行 (英文名称・略称) European Bank for Reconstruction and Development (EBRD)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	○その他○		
所轄官庁担当局課名	外務省 軍縮不拡散・科学部 国際原子力協力室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成18年度	378,764	3,412		1\$=111円	(2006年) 5.94	0
平成17年度	40,492	378		1\$=107円	(2005年) 6.19	0
平成16年度	0	0		1\$=110円	(2004年) 6.48	0
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2006年度決算)		
	国 名	金額(千EUR)	率(%)	当該年度の収入	494,044千EUR	
1位	米国	128,124	18.61	当該年度の支出	42,048千EUR	
2位	ドイツ	60,486	8.78	次年度への繰越	451,996千EUR	
3位	英国	47,557	6.90	会計検査機関名		
4位	フランス	41,770	6.06	Pricewaterhouse Coopers		
5位	日本	40,957	5.94	(現在の構成員の出身国:米国に本部を置く多国籍監査 企業)		
上記の率及び順位は2006年までの当該基金への拠出の累計によるもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
1986年に事故を起こしたチェルノブイリ発電所第4号炉のシェルターの安定化及びこれを覆う新シェルターの建設は、世界の原子力安全及び環境保全の観点から急務の課題。G8の一員である我が国としては、これらのプロジェクトの着実な実施に向け貢献する必要がある。本件プロジェクトの事務局であるEBRDは、中東欧諸国の市場経済への移行の支援やエネルギー・プロジェクト等を実施し、プロジェクトや基金の運営については豊富な経験を有しており、本件シェルタープロジェクトについても着実に実施していることを評価している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
チェルノブイリシェルター基金は、最小限の人員で効率的に運営されており、我が国としても事務局の努力を評価している。						
邦人職員数	15 人	当該機関の職員数及び		685 人		
うち幹部以上	うち 4 人	邦人職員が職員全体にしめる率		2.2 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
総裁上級顧問		日下部 元雄		財務省出身		
中央アジア担当局長		本間 勝		財務省出身		
イクイティ・ファンド局長		関根 かな子				
スモール・ビジネス局長		久野 周子				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
EBRDは、比較的小規模な国際金融機関であり、定期的採用はないが、EBRD事務局では、日本人職員の採用に努力している。2003年には人事担当が来日し、日本人応募者に対する面接を実施した。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)による、2006年までに当該基金に拠出されてきた累計によるものとなっている。

(参考) EBRDには、この他に財務省からも拠出あり。